

ティファール スチームアイロン

ヴァーチュオ 80

製品番号 FV18 シリーズ



1820006252-02

目次

安全上のご注意.....	2	ジェットスチームを 使うときは.....	18
各部の名前とはたらき.....	7	バーチカルスチームを 使うときは.....	19
絵表示の見方と温度の関係.....	8	使い終わったら.....	21
衣類に表示されている 取り扱い絵表示.....	8	お手入れ.....	23
温度設定目安表.....	8	本体のお手入れ.....	23
水漏れ防止機能.....	9	かけ面のお手入れ.....	23
自動オフ機能.....	9	セルフクリーニング.....	24
ご使用前に.....	10	水あか防止バルブの クリーニング.....	26
使い方.....	12	故障かなと思ったら.....	28
ワンタッチスプレー（霧吹き）を 使うときは.....	16	仕様.....	33
スチームアイロンとして 使うときは.....	17		

安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取り扱いをしたときに、
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



注意

誤った取り扱いをしたときに、
人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



接触禁止



電源プラグをコンセントから抜く



警告



電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する

間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。



使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

ショートや発火する恐れがあります。



修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

やけど・感電・けがをすることがあります。



濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の恐れがあります。



コンセントについて

- 単独でコンセントを使用する
- 2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する
- 延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する

コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人（子供を含む）には、単独で使用させない。また、製品で子供が遊ばないように注意する。

やけど・感電・けがをすることがあります。










電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。

安全上の注意 (続き)

注意

-  **電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く**
感電・ショート・発火の原因になります。
-  **電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない**
-  **電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない**
感電・ショート・発火の原因になります。
-  **電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない**
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。
-  **熱いアイロンにコードを巻き付けない**
ショート・発火の原因になります。
-  **衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけない**
やけどの原因になります。
-  **万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない**
危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしない



アイロンは平たく安定していて熱に強い場所で使用する。
また、アイロンを置くときは置く場所が安定していることを確認する



ジェットスチームトリガーを連続して速くひかない
湯滴漏れによるやけどの原因になります。



高温部（本体のかけ面など）には手を触れない
やけどの恐れがあります。
また、使用中あるいは使用直後は、絶対にコードがアイロンかけ面に触れないようにしてください。



使用時以外は電源プラグをコンセントから抜く
けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜く
感電の原因になります。



熱いスチームに触れない
やけどの原因になります。



アイロンかけの際は、アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない
湯滴が出て、やけどの原因になります。



湿った衣類（霧吹きした衣類）は、ドライでアイロンかけをする
湿った衣類にスチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因になります。

安全上の注意 (続き)



本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。
各地域のごみ収集所に出してください。

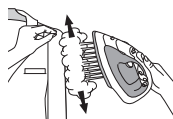
- ※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
- ※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。
- ※ 本製品は必ず屋内で使用してください。
- ※ この機器は、安全面の責任を持つことができる人が一緒の場合を除き、子ども、高齢者、障害がある人が使うことを想定していません。

お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。✕ 
故障の原因になります。

コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・絹などには使用しないでください。

衣類を傷める原因になります。



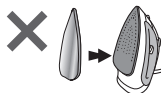
高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

特にご注意

ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わない

誤動作の原因になります。



各部の名前とはたらき

ジェットスチームトリガー

ジェットスチームやバーチャカルスチームを使うときにひきます。

☞ 18 ページ「ジェットスチームを使うときは」

サーモスタットランプ

かけ面の温度が適温になると消灯します。

水タンク

通電ランプ

本体が通電していると点灯します。なお、自動オフ機能が働くと点滅します。

☞ 9 ページ

ワンタッチスプレーボタン

アイロンの先端から霧状の水を出します。

☞ 17 ページ

スチーム切り替えレバー (水あか防止バルブ)

スチームのオン/オフを切り替えます。☞ 14 ページ
また、水あか防止バルブは定期的にお手入れすることで、水あかが付くのを防ぎます。

☞ 25・26 ページ

注水口カバー

水を入れるときに開けます。

☞ 12 ページ

かけ面

ワンタッチスプレーノズル

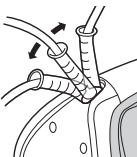
温度設定ダイヤル

かけ面の温度を設定します。

☞ 14 ページ

イージーコードシステム





アイロン本体からコードを遠ざけることにより、手元の衣類とコードのからみを軽減します。



絵表示の見方と温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示






(一部参考例)

	高温でかけてください。		低温でかけてください。
	中温でかけてください。		アイロンかけはできません。

※ その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表

(かけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定 ダイヤルの位置	スチーム切り替え レバー	かけ面の温度* (目安)
合成繊維 (アクリル・ナイロン・ ポリエステル・ アセテートなど)	●	 ドライで ご使用ください	約 70℃～ 約 120℃
絹・毛	● ●	 または 	約 100℃～ 約 160℃
綿・麻	● ● ●	 または 	約 140℃～ 約 200℃

 : ドライゾーン  : スチームゾーン

※ あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じっている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※アイロンかけの前に衣類を分けておくと能率的です。



注意

念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。

水漏れ防止機能

かけ面の温度が設定温度に達していないとき、かけ面のスチーム穴からの水漏れを自動的に防止する機能があります。

水漏れ防止機能が働くと、かけ面の温度が十分な温度に達するまでスチームは出なくなります。

お願い

- 水漏れ防止機能は、スチームアイロン使用時に働く機能で、ジェットスチームやバーチカルスチーム使用時には働きません。
- 15 ページを参照し、ジェットスチームを使用する際は、温度設定ダイヤルを「●●」～「●●●」の間にセットし、バーチカルスチームを使用する際は、温度設定ダイヤルを「●●●」の位置にセットしてください。
- ジェットスチームやバーチカルスチームを連続使用する際は、少なくとも 4 秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。

自動オフ機能

製品をご使用中、一定の時間使わずに放置すると、自動オフ機能が働き、かけ面への通電が止まります。

自動オフ機能が働いても、かけ面はすぐに冷えませんので、かけ面に触れないようご注意ください。

自動オフ機能が働いているときは、通電ランプが点滅します。

再び使用を開始するときは、通電ランプが点滅なくなるまでゆっくりアイロンを動かしてください。

自動オフ機能が働くまでの時間

アイロンを立てた状態	約 8～9 分間
アイロンを寝かせた状態	約 30 秒

ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。

アイロンを加熱する前に、かけ面にラベルが貼られている場合は剥がします。

初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。ただし、症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から粒や粉が出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には、10回ほどジェットスチームトリガーをひいて蒸気を出してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングもおこなってください。(24 ページ)

ジェットスチームおよびバーチャルスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった場合はセルフクリーニングをおこなってください。

23 ページの「セルフクリーニング」を参照してください。

タンク内部の水滴について

本製品は出荷前にスチーム噴射検査をおこなっているため、水タンク内に水滴が残っている場合がございますが、製品のご使用にはまったく問題ございません。

ご使用にあたっての注意事項

スチームアイロンには、水道水をご使用ください。

スチーム穴の詰まりや布地のシミの原因になることがありますので、リンネウォーターやミネラルウォーター、雨水、エアコンや冷蔵庫など電化製品から出てきた水、その他添加剤を加えた水などは使用しないでください。

のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

温度設定は正確にしてください。

8ページの「絵表示の見方と温度の関係」や衣類に付いている洗濯表示を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

ドライアイロンとして使うときや、バーチカルスチームを使うときは、スチーム切り替えレバーを「熨」にしてください。

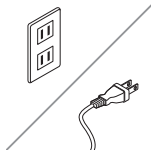
「熨」にしていると湯滴漏れの原因となり、やけどをする恐れがあります。

使い方

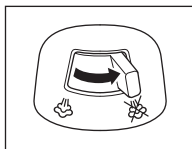
1 水タンクに水を入れます。

(スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合のみ)

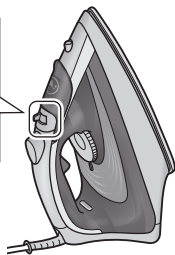
- ① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。



- ② スチーム切り替えレバーを「霧」に合わせます。



※ 給排水中は「霧」に合わせないと、水漏れ・湯滴漏れする原因になります。

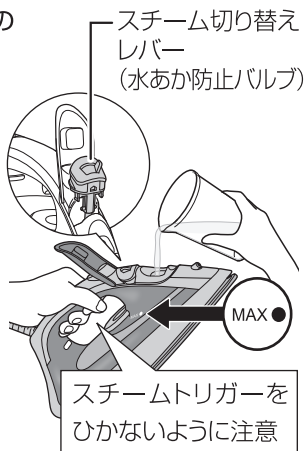


- ③ 注水口カバーを開け、水タンクのMAX マークまで水を入れます。

※ スチーム切り替えレバー（水あか防止バルブ）がセットされていることを必ず確認してください。

※ 水はMAX より入れすぎないように注意してください。水漏れの原因になります。

※ 電源プラグ、コード、アイロン本体に水がかからないようにご注意ください。

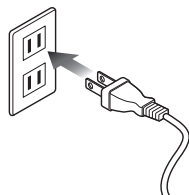


④ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

! 注意



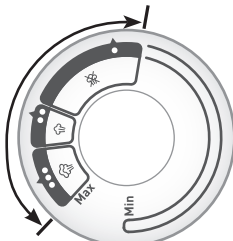
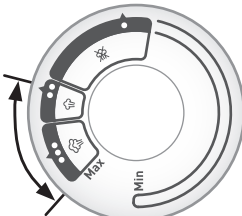
- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されていますが、定期的にセルフクリーニング（24ページ「セルフクリーニング」）をおこなってください。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟化水、冷蔵庫・バッテリー・エアコン・除湿機の水、雨水、煮沸／濾過された水、解凍水、ミネラルウォーター、添加剤・香料を加えた水、これらの水はご使用にならないでください。
- 注水時、ジェットスチームトリガーをひかないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

2 電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。



使い方 (続き)

3 温度設定ダイヤルとスチーム切り替えレバーをセットします。

	ドライアイロンとして使うとき	スチームアイロンとして使うとき
スチーム切り替えレバー	「☀」マークに合わせます。 	「☂」マークに合わせます。 
温度設定ダイヤル	「●」～「●●●」の間にセットします。 	「●●」～「●●●」の間にセットします。 「●」にセットしていると湯滴漏れの原因となります。 

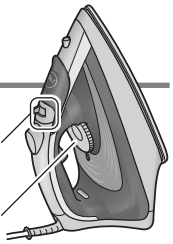
この位置にダイヤルを合わせます。



注意

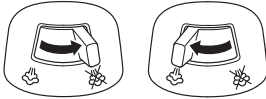
- 温度設定ダイヤルを「●」にセットしたときは、スチーム切り替えレバーを必ずドライ「☀」にセットしてください。セットしないと、湯滴漏れの原因になります。
- 温度設定ダイヤルがかたい場合は、スチーム切り替えレバーをドライ「☀」に合わせてください。

スチーム切り替え
レバー
温度設定ダイヤル



ジェットスチームを使うとき




「」・「」マークの、
いずれかに合わせます。

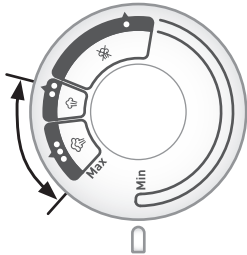





バースカルスチームを使うとき

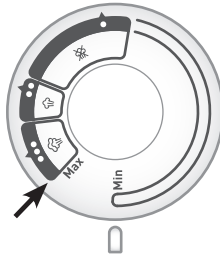
「」マークに合わせます。



「」～「」の間に
セットします。
「」にセットしていると湯滴
漏れの原因となります。



「」の位置にセットします。
「」～「」にセットしていると湯滴漏れの原因となります。



お願い

かけ面は熱くなりませんが、「Min」でも通電しているので、使用時以外は電源プラグを抜いてください。

使い方 (続き)

長期間スチームをご使用にならなかったときは…

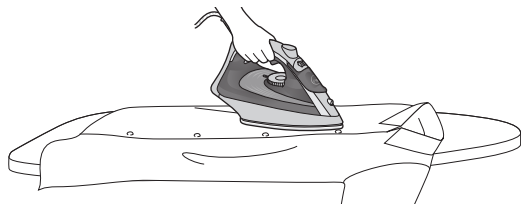
以下の手順で、スチーム穴と内部に付着したほこりなどを排出してください。

- 1 温度設定ダイヤルを「●●●」にセットします。
- 2 サーマスタットランプが消えたら、かけ面を下にしてアイロンを浮かし、ジェットスチームトリガーをひいてスチームを出します。

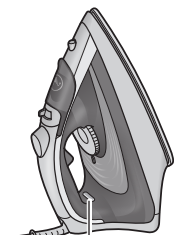
※ 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。その場合、ジェットスチームトリガーを10～15回程ひいてください。かけ面より湯滴が落ちることがありますのでご注意ください。



- 4 サーマスタットランプが消えたら、
使用を開始します。

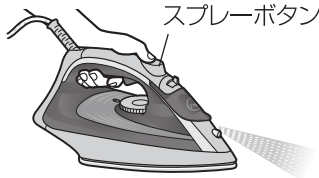


サーモスタットランプ



■ ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うときは ワンタッチスプレーボタン

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。ドライアイロンとして使用しているときでも、水タンクに水が入っていれば使えます。



※ 使い始めは出にくいことがあります。

その場合、ワンタッチスプレーボタンを10～15回程度押してください。



注意

絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。

■ スチームアイロンとして使うときは

- 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- スチーム量を最大にするときは、温度設定ダイヤルを「●●●」に合わせてください。
- スチームを出すときは、サーモスタットランプが消えていることを確認してください。
- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてから、アイロンをかけてください。
- スチーム量は設定温度に合わせて自動調整されます（オートスチーム機能）。



注意

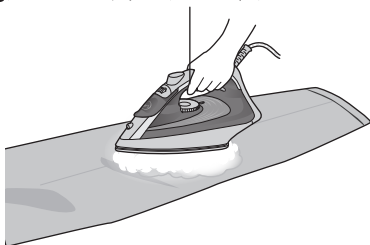
- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体（足や太もも）がこないように注意してください。
- アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

使い方 (続き)

■ ジェットスチームを使うときは

一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームトリガーをひいてください。強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。

ジェットスチームトリガー



- 温度設定を必ず「●●」～「●●●」の間に設定してください。
- サーモスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。
- ジェットスチームを使うときは、水タンクに水を入れてください。
- 温度設定ダイヤルを「●●●」にセットしたときに一番パワフルにスチームが出ます。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。
- スチーム切り替えレバーを「燦」に設定していても、水タンクに水が入っていて温度設定が「●●」～「●●●」の間であれば、ジェットスチームが使用できます。

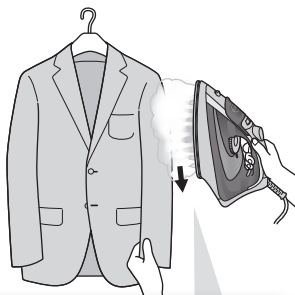
！ 注意

- 温度設定ダイヤルを「●」にセットしたときは、ジェットスチームを使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。
- 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分に気をつけてください。


■ バーチカルスチームを使うときは

衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。

衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。



ジェットスチームトリガーを繰り返しひきながら、アイロンを上から下に移動させます。

- 温度設定を「●●●」にセットしてください。
- サーマスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。
- バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。
- 水量が少ないと出にくくなります。
- 連続使用するときには少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。
- スチーム切り替えレバーを「」に設定していても、水タンクに水が入っていて温度設定が「●●●」であれば、バーチカルスチームが使用できます。

使い方 (続き)

- 温度設定ダイヤルを「●」もしくは「●●」にセットしたときは、バーチカルスチームを使用しないでください。
 - 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- !** **注意**
- スチームを直接身体や生き物にかけないでください。
 - スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。
 - 布地を引っ張る際は手にスチームがあたらないようご注意ください。

お願い

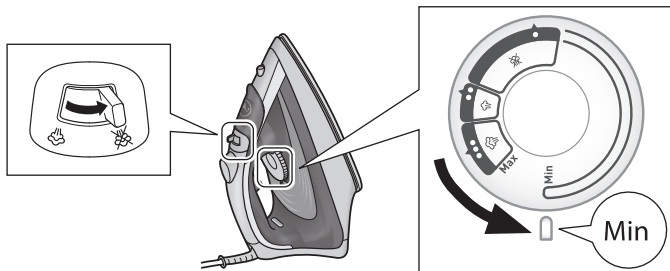
熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

使い終わったら

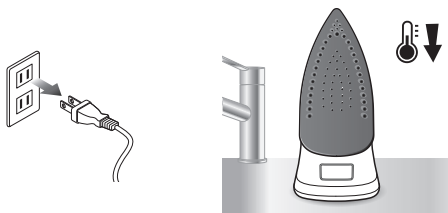
お願い

必ず水タンクから水を捨てて保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

- 1 温度設定ダイヤルを「Min」に、スチーム切り替えレバーを「」にセットします。



- 2 電源プラグを抜き、かけ面が冷めるまで、約1時間待ちます。



 注意

サーモスタットランプが消えていることを確認してから電源プラグを抜いてください。

使い終わったら (続き)

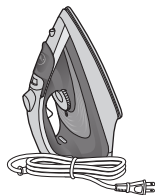
3 アイロンのかけ面が冷めたら、 水タンクの水を捨てます。

※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。



4 電源コードをたばねます。

かけ面のキズ防止、水もれ防止のため、必ず立てた状態で保管してください。



※ コードの根元が過度に折れ曲がった状態でアイロンを保管しないようにしてください。



注意

- スチーム切り替えレバーを「**爰**」にセットしていないか、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- アイロンは冷めてから、立てた状態で保管してください。

お手入れ

! 注意 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

- お願い**
- アイロンの電源プラグを抜き、冷めるまで約 1 時間待ってからお手入れしてください。
 - 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

本体のお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



かけ面のお手入れ

汚れが付いたときはすぐに取りってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして 1 時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

お手入れ (続き)

セルフクリーニング

目安：1 ヶ月に 1 回

アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングをおこなってください。(使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1 ヶ月に 1 回の目安でおこなってください。) スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

1 スチーム切り替えレバーを「**霧**」にセットします。

2 水タンクの MAX マークまで水を注ぎます。

(12 ページ「水の入れ方」参照)

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。



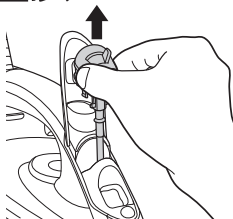
4 温度設定ダイヤルを「Max」にセットします。

5 アイロンを立てた状態で、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。

6 サーモスタットランプが消えたら、電源プラグを抜きます。

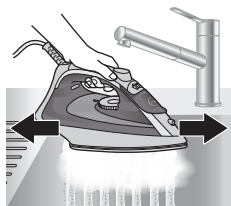
7 シンクなどの上でアイロンを水平に持ち、
注水口カバーを開けて
スチーム切り替えレバーを持ち上げ、
水あか防止バルブを抜きます。

- このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。
- スチーム切り替えレバーをドライ「燦」に合わせ、温度設定を Min にすると簡単に取り外せます。



8 蒸気（および不純物）がスチーム穴から排水されるまで、
シンクの上でジェットスチームトリガーを
ひきながら、アイロンを前後に
軽く振ります。

- 十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。

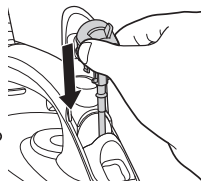


注意

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。
- お湯が出た場合は、ジェットスチームトリガーを離し、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してから、アイロン本体を立ててください。

お手入れ (続き)

- 9 十分に蒸気を排出したら、
水あか防止バルブを元の位置に
セットし、注水口カバーを閉めます。
カチッと音がするまで押して固定してください。



お願い
水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずセットしてください。

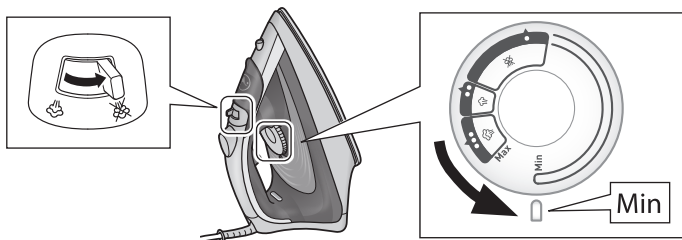
- 10 かけ面が冷めてから、
やわらかい布でアイロンを拭きます。

水あか防止バルブのクリーニング

目安：数カ月に1回

水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

- 1 温度設定ダイヤルを「Min」に、
スチーム切り替えレバーを「」にセットします。



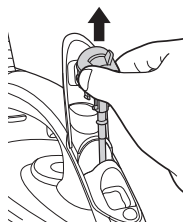
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、
かけ面が冷めるのを待ちます。

- 3** 水タンクに入っている水を捨て、
水タンクを空にします。

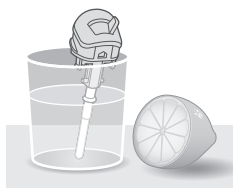


- 4** シンクなどの上でアイロンを水平に持ち、
注水口カバーを開けて
スチーム切り替えレバーを持ち上げ、
水あか防止バルブを抜きます。

- このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。



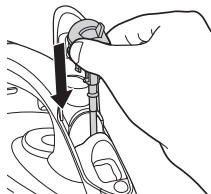
- 5** バルブの先端を3～5倍に
薄めた酢、またはレモン汁
に4時間程度浸します。



- 6** バルブの先端を水道水で
すすぎ洗いします。

- 7** 水あか防止バルブを本体に戻し、
注水口カバーを閉めます。

カチッと音がするまで押し
固定してください。



お願い



水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。
お手入れの際は、忘れずセットしてください。

故障かなと思ったら

状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定ダイヤルの位置が正しくない。	温度設定ダイヤルの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。
自動オフ機能が作動した。	通電ランプの点滅が止まるまで本体をやさしくゆすってください。



状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。 → 10 ページ
スチーム切り替えレバーが「  」にセットされている。	スチーム切り替えレバーを「  (スチーム)」にセットしてください。
温度設定がスチームゾーンになっていない。	温度設定ダイヤルをスチームゾーンにセットしてください。→ 14 ページ
水タンクが空になっている。	水タンクに水を入れてください。
水漏れ防止機能が働いている。	かけ面が適温に達するまでお待ちください。
スチーム穴が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングをおこなってください。 → 24、26 ページ

考えられる原因	対処方法
水あか防止バルブが汚れている。	水あか防止バルブをクリーニングしてください。→ 26 ページ
アイロンに水あかがたまっている。	水あか防止バルブをクリーニングし（→ 26 ページ）、セルフクリーニング（→ 24 ページ）をおこなってください。
水を入れずにドライのみを長時間使用した。	セルフクリーニング（→ 24 ページ）をおこなってください。

状況

水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た

考えられる原因	対処方法
スチーム切り替えレバーが「  」にセットされていない。	水タンクに水を入れるときは、スチーム切り替えレバーを「  」に合わせてください。
水あか防止バルブがきちんとセットされていない。	水あか防止バルブをきちんとセットしてください。

状況

水が漏れる

考えられる原因	対処方法
ジェットスチームトリガーの使用回数が多すぎる。	ジェットスチームトリガーを連続使用する場合、少なくとも 4 秒間あけてください。
温度設定ダイヤルがドライゾーンにあるのに、スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用するときは、温度設定ダイヤルをスチームゾーンに合わせてください。

故障かなと思ったら (続き)

考えられる原因	対処方法
十分な温度になる前にスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	サーモスタットランプが消えてからスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用してください。
水タンクに水を入れすぎた。	MAX マーク以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	アイロンかけ後は、21 ページを参考にして、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
注水口のふたをしっかりと閉めていない。	注水口のふたはしっかりと閉めてください。

状況 粒や粉などがかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉 (10 ページ) か、水道水のミネラル分 (カルキ等) がたまり、排出された。	10 数回ジェットスチームトリガーをひいて蒸気を出すか、セルフクリーニング (24 ページ) でお手入れをしてください。

状況 スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水タンク内の水に水あか除去剤やその他の添加剤等はいっさい入れないでください。

考えられる原因	対処方法
不適切な水を使用した。	セルフクリーニング（24 ページ）をおこない、12 ページを参照して水道水を入れてください。
繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。	セルフクリーニング（24 ページ）をおこない、湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。アイロンが冷めた状態のときに定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついでしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

状況

かけ面が汚れる、または茶色くなり、 布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	<ul style="list-style-type: none"> ● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 衣類の洗濯表示や 8 ページの「温度設定目安表」を参照してください。
布地に洗剤やのりが残っている。	<ul style="list-style-type: none"> ● のりを使用する場合は、あて布をしてください。（11 ページ） ● かけ面の汚れを取り除いてください。 ● 布地を完全にすすいでください。

※ かけ面のお手入れについては、23 ページを参照してください。

故障かなと思ったら (続き)

状況 かけ面にキズがついたまたは破損した

考えられる原因	対処方法
アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーの上に使用した。	<ul style="list-style-type: none">● アイロンは常に立てた状態で保管してください。● ジッパー上の使用は避けてください。● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	

状況 かけ面からゴミが出る

考えられる原因	対処方法
水あかがかけ面についている。	セルフクリーニング (24 ページ) をおこなってください。

状況 ワンタッチスプレーが出ない

考えられる原因	対処方法
水タンクに十分な水が入っていない。	<ul style="list-style-type: none">● 水タンクに水を入れてください。● 最初はスプレーが出にくいことがあります。10～20回ボタンを押してください。

仕様

製品名	ヴァーチュオ 80
電源	100 V 50-60 Hz
定格消費電力	1200 W
温度ヒューズ	390°C
本体サイズ (cm)	約 12.5 × 29.0 × 14.2
本体重量	約 1.1kg
コード長さ	約 2m
タンク注水量	270mL

機能

イージーコードシステム	●
ワンタッチスプレー (霧吹き)	●
ジェットスチーム	●
バーチカルスチーム	●
水あか防止バルブ	●
セラミックかけ面	●
水漏れ防止機能	●
自動停止機能	●

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Made in China

愛情点検	●長年ご使用のアイロンの点検を!
	<p style="text-align: center;">こんな症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">● 電源プラグ・コードに損傷が見られる。● 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。● かけ面や取っ手が異常に熱い。● 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。● 焦げくさいにおいがする。● その他の異常・故障がある。 <p style="text-align: center;">▼</p> <p style="text-align: center;">ご使用中止</p> <p>事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。</p>



株式会社 グループセブ ジャパン

本社：〒107-0062 東京都港区南青山 1-1-1 新青山ビル東館 4F

お客様
相談センター



0570-077772

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

部品注文
センター



0570-086072

ナビダイヤル® 受付時間：9:00～18:00(土・日・祝日・弊社休業日を除く)

修理センター

- ※ 全国各地より市内通話料金にてご利用いただけます。
- ※ 商品により部品としての取り扱いのないものがございます。